

風穴をあける学校

不登校生が通う特例校

草潤中が切り拓く子どもたちの未来



佐藤明彦・著

協力 岐阜市教育委員会

好評発売中！

四六判並製・一九二頁
定価：一九八〇円（税込）
ISBN：9784788720183

子どもが多様であるという前提に立ち、そこに対応していくのであれば、現状の学校教育システム自体を変えていく必要があります。その意味で、草潤は不登校の子のための学校ではなく、これからの学校の一つの形だと捉えています。——水川和彦(岐阜市教育長)

学校の名前は、岐阜市立草潤中学校。2021年4月に開校したばかりの学校だが、その革新的な学校の在り方が一躍注目を集め、今も県の内外から多くの関係者が視察に訪れている。新聞やテレビなどで紹介される機会も多く、今、日本で最もホットな学校の一つといっても過言ではない。（本書「プロローグ」より）

【著者 プロフィール】

佐藤明彦(さとう・あきひこ)

教育ジャーナリスト。1972年滋賀県大津市出身。大手出版社勤務を経てフリーの記者となり、2002年に編集プロダクション・株式会社コンテンツを設立。教育書の企画・編集に携わる傍ら、自身は教育分野の専門誌等に記事を寄稿。教員採用試験対策講座「ぶらすわん研修会」の事務局長。

【主な内容】

プロローグ —岐阜に誕生した「学校らしくない学校」—

- 第1章 「学校らしくない学校」 草潤中の日常
 - 第2章 「誰一人取り残さない」決意とともに 草潤中誕生の軌跡
 - 第3章 既存の校舎を「生徒目線」でつくり変える 草潤中の空間設計
 - 第4章 イベントも自分たちでつくる 草潤中の学校行事
 - 第5章 学びに「風穴」をあける 草潤中の生徒たち
 - 第6章 学校・教職員の役割を「再定義」する草潤中の教職員たち
 - 第7章 「誰一人取り残さない」覚悟と決意 岐阜市の不登校対策
- エピローグ —2025年3月、旅立ちの日に寄せて—

こちらから、ご注文いただけます



Amazon



Rakuten



紀伊國屋書店



時事通信出版局



時事通信出版局

〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8
TEL:03-5565-2155 FAX:03-5565-2168 mbook@book.jiji.com